

第44回

甲府空襲 戦争と平和・環境展

「語り継ごう 20 世紀を 創ろう平和な 21 世紀を」

～戦後 80 年 いま私たちが本当に必要とするのは～

入 場 無 料

期日 2025 年 7 月 2 日 (水)～7 日 (月)

時間 AM10:00～PM5:30

2 日 (水) は PM2:45 より

7 日 (月) は PM3:30 まで

場所 山梨県立図書館・1 階 イベントスペース

入 場 無 料

会場内展示内容

- 【甲府空襲と戦時下の生活】 ●戦時下のくらしの記録写真と当時の生活用具 ●空襲による被災の記録写真 ●甲府空襲体験記録集
- 【長く続いた戦争】 ●ヒロシマ・ナガサキの被爆実態 ●沖縄戦
- 【戦争と教育】 ●県内小中学校の平和教育 ●昔の学校 ●教科書
- 【世界の紛争】 ●紛争の歴史
- 【語り伝え・紙芝居】 ●甲府空襲・戦争体験 ●「もうひとつのセタ」 (紙芝居)
- 【折り鶴・戦争体験記】 ●ヒロシマへ、千羽鶴をおくろう
- 【環境・国際支援】 ●食の安全について ●環境リサイクル ●ユニセフ展示



特別企画 市民とともに平和を考える集い

日時: 7 月 5 日 (土) 午後 2 時～ 入場無料

場所: 県立図書館 1 階 イベントスペース特設ステージ

★若手教職員による 平和へのメッセージ

★退職女性教職員による大型紙芝居 「もうひとつのセタ」



主催 第 44 回 甲府空襲 戦争と平和・環境展実行委員会

事務局 TEL:055-222-1541

甲府市は、第二次世界大戦・太平洋戦争の終戦間際の1945年（昭和20年）7月6日深夜から7月7日未明にかけて、アメリカ軍の大規模な空襲を受け、一晚にして焼け野原になってしまいました。この時には、都会から戦火を逃れ避難してきていた人々も含め、直接戦争をしていない多くの一般の人々が犠牲になりました。この空襲で、死者は1,127名、負傷者1,239名、被害戸数18,094戸にのぼる大きな被害を受け、甲府市は市街地の74%（79%とも言われる）が焼きつくされ、破壊されてしまいました。（1974年（昭和49年）7月調査）

この空襲は、アメリカ軍のB-29爆撃機によるもので、131機もの飛行機から978トンもの爆弾・焼夷弾が雨のように落とされたのです。当時の甲府は、昭和の有名な作家で、甲府空襲を体験した太宰治が、著書『新樹の言葉』のなかで甲府の街を「きれいに文化のしみとおっているまちである」と表現しているように、明治時代からの西洋的な洋風建築の建物が建ち並び、小さいながらもきれいでおしゃれな街でした。

そのきれいな街並みが、一回の空襲で火の海となり多くの人々が命を落とし、住む家を焼かれ、傷つき、すべてを失ってしまったのです。この甲府空襲は、7月6日から7月7日未明にかけて発生したため、「たなばた空襲」とも呼ばれています。被害は、石和・玉穂・甲運・富士見・境川・春日居・玉幡・昭和・竜王など、甲府周辺の13町村（当時）にも及びました。

地区名	犠牲者
富士川地区	74名
琢美地区	191名
相生地区	112名
新紺屋地区	16名
湯田地区	427名
穴切地区	41名
春日地区	25名
朝日地区	40名
伊勢地区	43名
貢川地区	3名
国母地区	12名
里垣地区	23名
相川地区	8名
県市外	82名
住所不明	30名
合計	1,127名

太宰と甲府空襲

「人間失格」「走れメロス」などで知られる、日本を代表する文豪である太宰治は、今から80年以上前の昭和13年9月に甲府を訪れており、甲府空襲も経験しました。その経験を元に書かれた「薄明」という作品には、甲府空襲の様子が詳しく書かれています。図書館にお越しの際はぜひそちらの作品にもふれてみてください。

図書館との連携

期間中、県立図書館にご協力いただき、平和関連図書の展示・貸し出しを行っております。ぜひご覧ください。（1階児童資料コーナー）

「80年目の暑い夏を迎えて」



1945年8月15日、日本は第二次世界大戦の終戦を迎え、戦争放棄を誓った平和憲法が公布されて、私たちの親世代は平和な時代へと歩み始めました。

しかし、終戦のわずか一ヵ月前の7月6日から7日の未明にかけて、アメリカ軍による大規模な空襲により、甲府の街は一面焼け野原と化し、多くの尊い命が奪われました。

当時の姿がジオラマで表現されています。強烈な炎から逃げ惑う市民の姿を想像してみてください。標的とされた街に必ず人々の営みがあります。

私たちは、戦争を知らない世代の方々にこそ足を運んでいただきたいと願っています。想像力豊かに平和な未来と一緒に考えていきましょう。

実行委員長 手塚 仁

「第44回 甲府空襲 戦争と平和・環境展」によせて



「第44回 甲府空襲 戦争と平和・環境展」が、盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

戦後80年を迎え、より一層平和の尊さを伝えていく重要性が増す中、この展示会が多くの方にとって、平和について考える機会となり、争いのない世界が訪れることを心から願うばかりであります。

本市におきましても、平和ポスター展や、平和祈念の黙とうの呼びかけなど、市民の皆様の平和意識の醸成が図られるよう、各種事業に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本展示会のご盛会と実行委員会の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、挨拶いたします。

甲府市長 樋口 雄一

〈主催団体〉山梨県平和センター・山梨県教職員組合
・自治労山梨県本部・甲府市職員組合・甲府水道労働組合
・生活協同組合パルシステム山梨長野
・山梨県退職現職女性教職員の会・山梨県母と女性教職員の会
・山梨退職者団体連合・全農林労働組合やまなし分会
・食とみどり、水を守る山梨県民会議・山梨非核平和の旅実行委員会・山梨県教育会
〈協賛団体〉連合山梨・環境と平和を考える県民の会

〈後援〉山梨県・甲府市・山梨県教育委員会・甲府市教育委員会
・山梨県PTA協議会・甲府市小中学校PTA連合会・山梨県公立小中学校長会・甲府市公立小中学校長会・山梨県公立小中学校教頭会
・甲府市公立小中学校教頭会・山梨県教育研究所・青少年育成甲府市民会議・甲府市自治会連合会・山梨県女性団体協議会
・山梨日日新聞社・毎日新聞甲府支局・読売新聞甲府支局
・朝日新聞甲府総局・テレビ山梨・山梨放送
・エフエム富士・エフエム甲府・NHK甲府放送局